Inverted fork stem kit
STD offset type
for HONDA CT125(20-22)(23-)
Part No:55-061-021/021B

55-061-021/202511A1

この度はオーヴァーレーシング製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
取り付けをされる前に本取り付け説明書を必ずお読みになり、内容をよく理解してから作業を行ってください。

お願い:
製品の取り付けについて、お電話でのご説明は非常に困難な場合がございます。
正確な取り付けとセッティングを行うために、車両と製品をお持ちになって知識と技術のある
オートバイ販売店様や、お買い上げになった販売店様へまずはご相談ください。

警告:

・製品の取り付けは、お買い上げ販売店、認証整備工場等の十分な取り付け技術のある方が行ってください。
弊社判断にて作業者の取り付け技術を認められない場合、商品の品質についても責任を負いかねる場合があります。

・取り付け作業を行う前に同梱パーツリストをお読みになり、内容物の数量及び傷や破損等の不具合が無いか
ご確認ください。一度車両に取り付けられた商品について、傷や欠品の保証はいたしかねます。

・本製品を適合車両、目的用途以外の使い方で使用しないでください。正しい取付け、使い方などを守られない場合、
商品の品質を含め一切保証いたしません。

・当社は商品の品質についてのみ責任を負うものであり、脱着工賃、代車費用、交通費等を含むそれ以外のどのような
事柄にも責任を負いません。

注意:

・作業中はエンジンを止めて、完全に冷めた状態で作業を行ってください。

・取り付け及び確認作業は、水平な場所で車体を安定させて行ってください。

・仮組みを行い、取り付け位置の確認を行ってください。

・締め付けトルク値や純正部品の取扱いは車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に行ってください。

・作業後は増し締め点検及び試運転を行ってください。特にフォーククランプ部分やステムナットが緩んでいると事故に
つながる危険性があります

・車両には個体差があります。取付がうまくできない場合は、周囲のボルトを一旦緩め、グリスアップした後に再度位置
を調整しながら取り付けを行なってください。

・本取付け説明書ではステムキット本体の装着に関する内容を説明しています。フェンダーやキャリパーの取り付けに関
しては、フェンダーステー(83-061-03C 57-061-05)やキャリパーサポート(83-061-31/31B
83-061-12/12B)の取付説明書を参考にしてください。

・装着する倒立フォークはHONDA純正のDAX125用(51400-K26-G61 フォークASSY R 51500-K26-01
フォークASSY L)を想定した設計となっています。同様の形状のHONDA純正部品での装着の場合、別途ご用意い
ただくキャリパーサーポートやフェンダーステーの装着が出来なかったり、車高が変化するのでご注意ください。

・ハンドルロックが使用できなくなります。ハンドルロックご使用の場合は別途ハンドルロックステー(開発中)をご購入
ください。

○締め付けトルク

M6 ボルト/ナット	5.9～9.8Nm	0.6～1.0kgf/m
M8 ボルト/ナット	14～22Nm	1.4～2.2kgf/m
M10 ボルト/ナット	25～39Nm	2.6～3.9kgf/m
M12 ボルト/ナット	45～72Nm	4.5～7.2kgf/m

同梱パーツリスト

	パーツ	Part	詳細/Spec	数/Qty
①	トップブリッジ	Triple tree		1
②	ロワーステム	Bottom bracket		1
③	右側ライトステー	Headlight stay ASSY right side		1
④	左側ライトステー	Headlight stay ASSY left side		1
⑤	キャップボルト	Socket cap bolt	M8×L20	2
⑥	アクスルカラー	Axle collar	Φ14×Φ6.2×L7.5	2
⑦	アクスルシャフト	Axle shaft	Φ12×L250	1
⑧	メーターステー	Meter stay		1
⑨	リフレクターステー	Reflector Stay		2

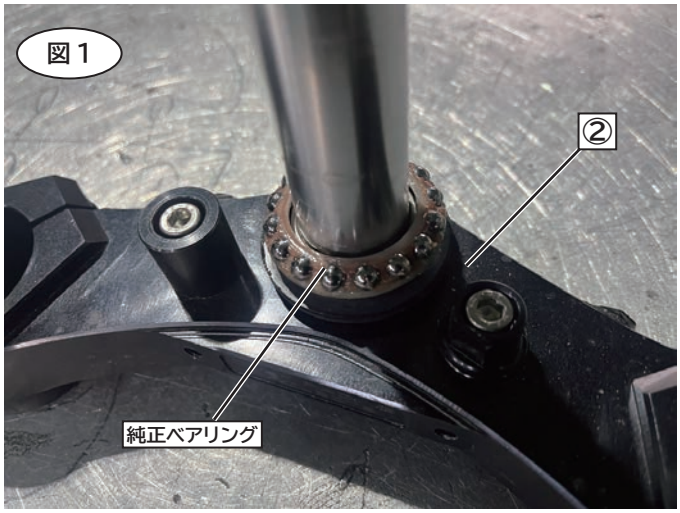
＊上記パーツリストを参照の上、商品の梱包内容をご確認ください。

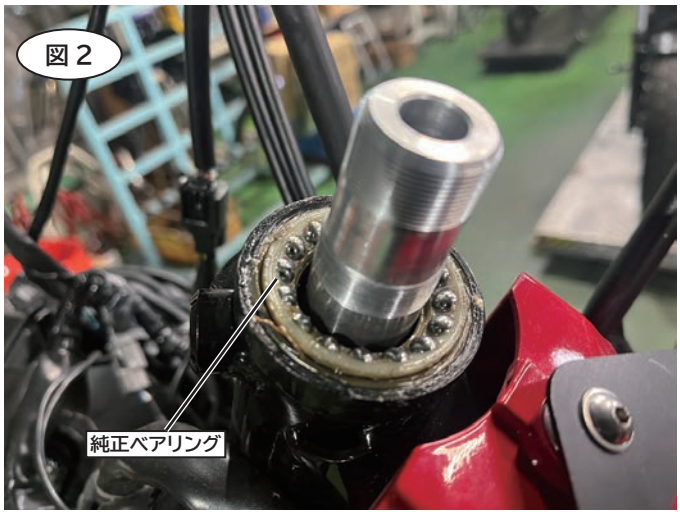
取付方法①

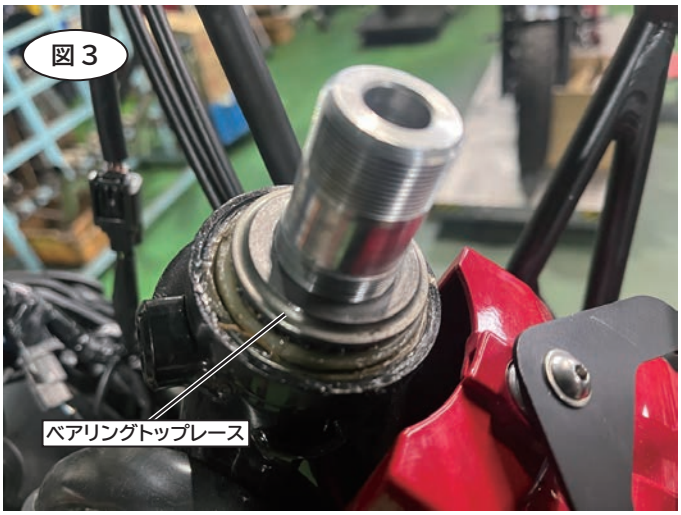
1. 車体を固定し安定した状態にしてから作業を進めます。サービスマニュアルを参考に純正ステム及びハンドル周辺の部品を外して、トップブリッジからキーシリンダーを取り外します。キーシリンダーは盗難防止ボルトで固定されているので、ドリルなどを使って取り外してください。メーターステーも取り外しますが、ワイヤーの一部がハーネスを一周する構造になっているので、プライヤー等で曲げハーネスを抜いてから取り外してください。上下ベアリングやトップレースは後ほど使用するので、グリスの状態を確認し、劣化している場合はグリスアップしておいてください。

2.②ロワーステムに純正ベアリングを取付けます。（図 1 参照）

3. ヘッドパイプ部に②ロワーステムを差し込み、純正ベアリングを取付けます。その後ベアリングトップレースを取付け、トップスレッドを取り付けてから、ピンスパナでロワーステムが適正に可動する状態になるまで締め付けます。（図 2・3・4 参照）







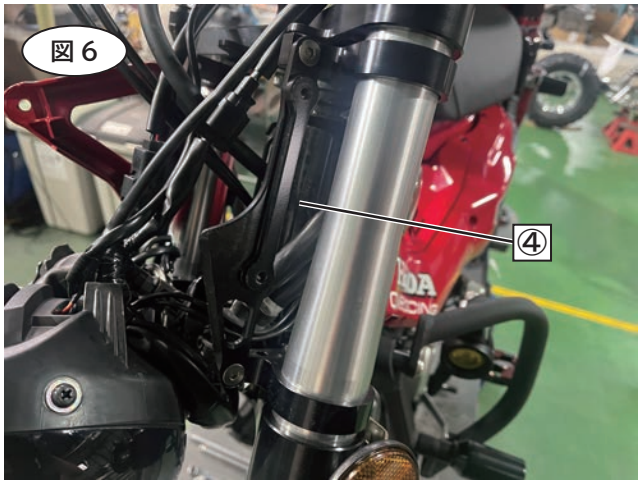
取付方法②

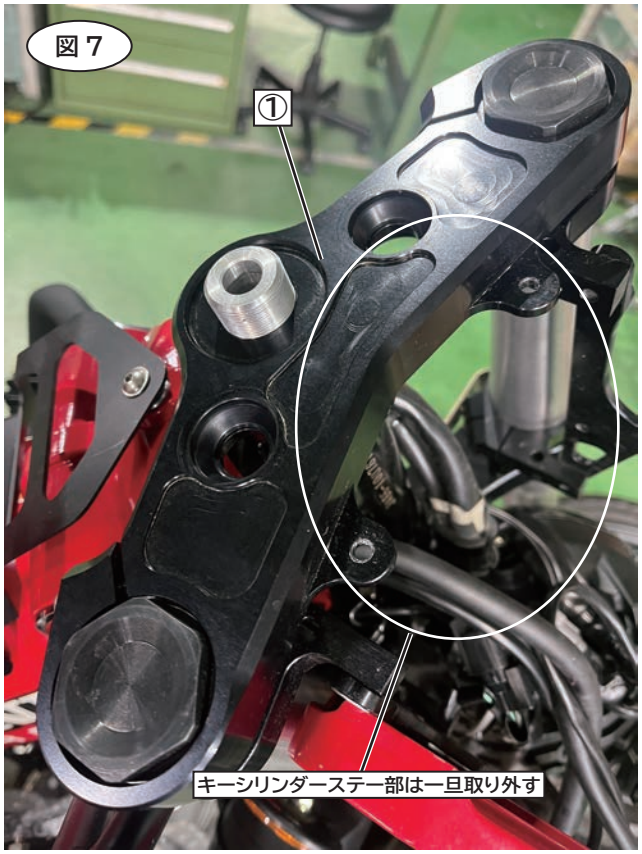
5. 左右フォークを仮組みします。
フォークの向きに注意し、②ロワーステムにフォークを差し込んで仮止めします。フォークのストレート部分をロワーステムでクランプして、抜けない程度に仮止めした状態にします。（図 5 参照）

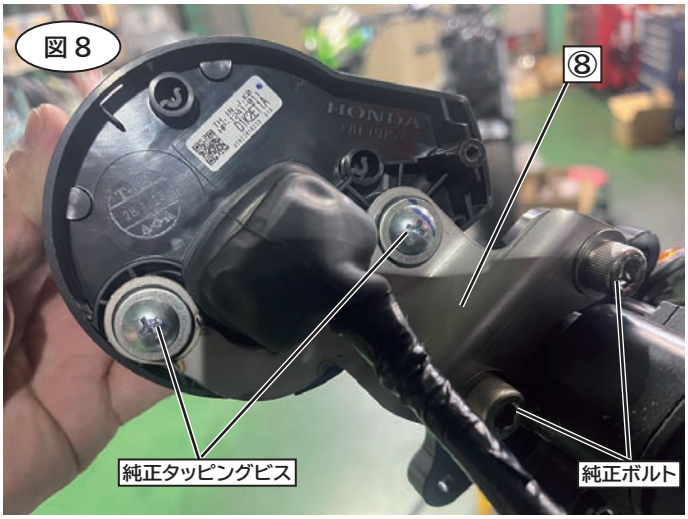
6. ③右側ライトステーと④左側ライトステーを取付けます。
③右側ライトステーと④左側ライトステーの向きに注意しながら、左右フォークに③右側ライトステーと④左側ライトステーを差し込みます。（図 6 参照）
※画像は④左側ライトステーの装着状態になります。

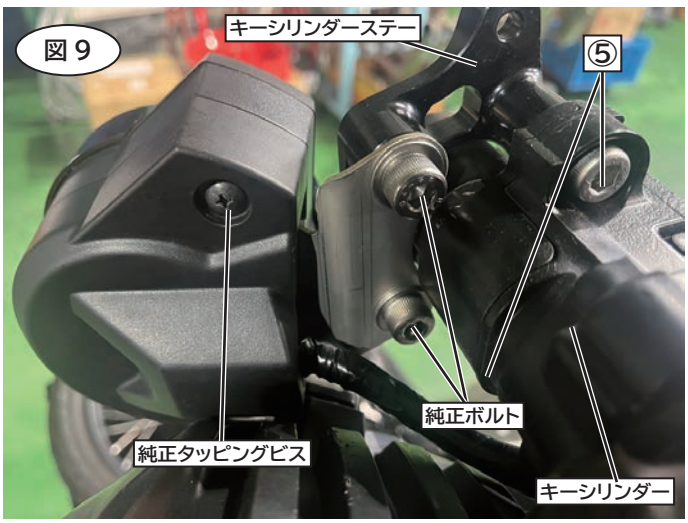
7、①トップブリッジを仮止めします。
①トップブリッジからキーシリンダーステー部を取り外し、左右フォークと②ロワーステムのステムシャフトの位置を合わせながら①トップブリッジを取付けます。ステムナットで①トップブリッジを固定してから、左右フォークの突き出し量を合わせ、①トップブリッジと②ロワーステムのクランプ部分の M8 ボルトを締め込んで固定します。（図 7 参照）

8. メーターを⑧メーターステーに取付けます。
メーター裏の凸部二か所に⑧メーターステーを取り付け、純正タッピングビスで固定します。次にカバーを取り付け純正タッピングビスで固定してから、キーシリンダーステーに⑤キャップボルト M8×L20 でキーシリンダーを取付け、純正ボルトで⑧メーターステーを固定します。（図 8・9 参照）





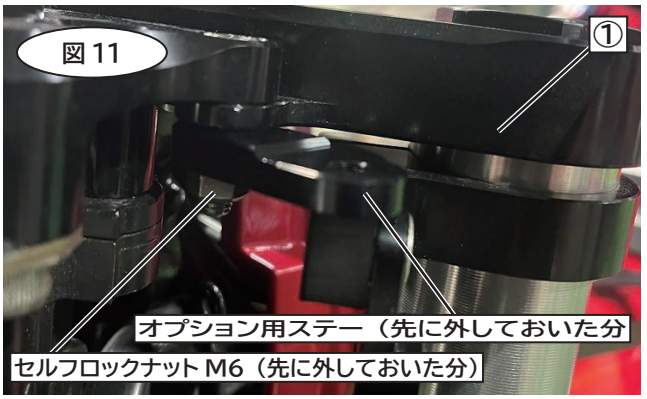




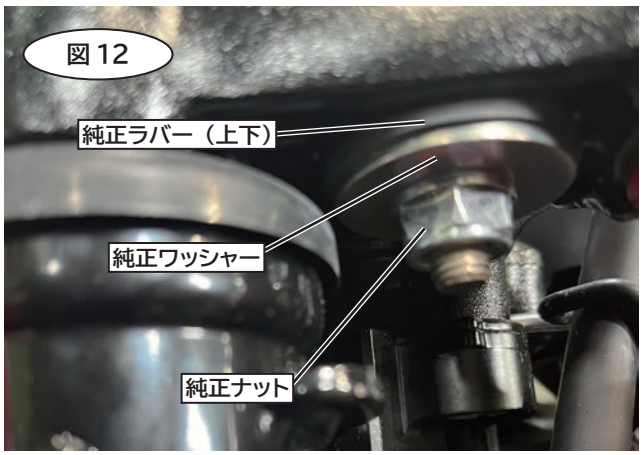
取付方法③

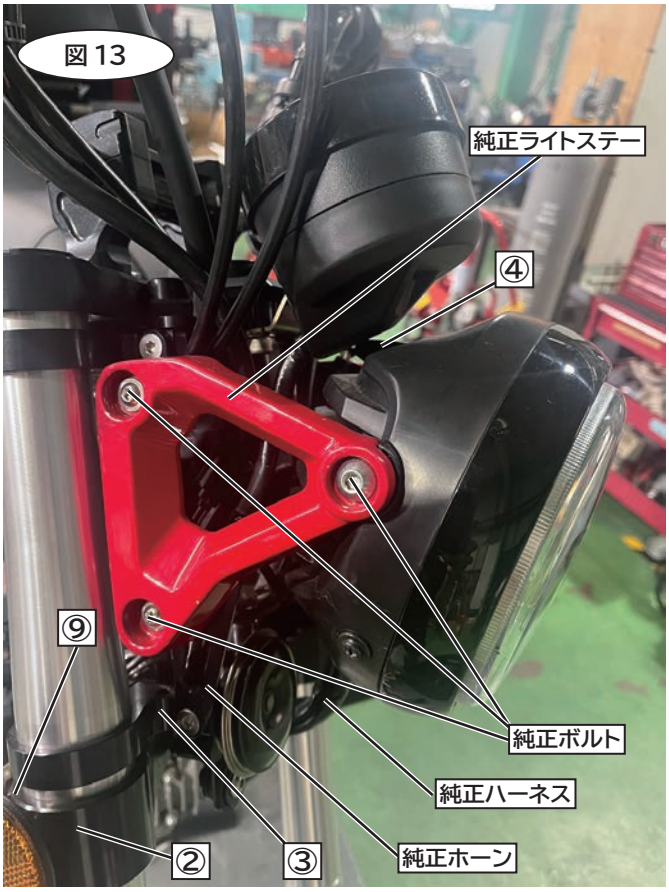
9. 組み立てたメーター部分をトップブリッジに取付けます。
出荷時の状態と同じ順番で、メーターステーを①トップブリッジに取付けます。キーシリンダーステー上部二か所のザグリ穴に、先ほど外したキャップボルト M6×L25 を取付けて固定し、ボルト先端部にこちらも先に外したオプション用ステーを取付けセルフロックナット M6 で固定します。（図 10・11 参照）

10. ①トップブリッジにハンドルを固定します。
①トップブリッジのハンドルクランプ固定部分二か所に、純正ラバーを上下の凹穴から取付けてからハンドルクランプの固定部分を差し込み、純正ワッシャーと純正ナットで左右二か所固定します。（図 12 参照）



11. ヘッドライトやホーンなどを取付けます。
外していたヘッドライトやホーンなどを取付けます。ハンドルからのワイヤーやメーター内部へ繋がるハーネスの取り回しに注意しながら、純正ライトステーを純正ボルトで取付けヘッドライトを固定します。左右同様に作業し③④ライトステーの上下位置を決めてから、クランプ部分のボルトを固定します。その後②ロワーステム前方下側の取付穴に、純正ホーンと純正ハーネスを固定します。最後に⑨リフレクターステーと純正ボルトを使い左右リフレクターを固定します。ハンドルの位置や各ボルトの締め付けを確認し、問題なければステムキットの装着作業は終了です。（図 13 参照）





◎倒立フォークステムキット用オプションパーツ

・カニブレンボ 2P 用キャリパーサポート
品番 83-061-12（SIL）83-061-12B（BLK）
・ノーマルキャリパー用キャリパーサポート
品番 83-061-31（SIL）83-061-31B（BLK）

・カーボンフェンダーキット
品番 73-061-03C
・ノーマルフェンダーステー
品番 57-061-05

・ハンドルロックステー（開発中）

※使用するキャリパーやフェンダーに対応する商品を別途ご用意いただいた上で、それぞれに付属の取付説明書を確認しながら最終的な装着を完了してください。装着完了後は安全な場所で試走し、各部の締め付け状態やクリアランスを確認した上で安全に走行してください。

＊図中番号は同梱パーツリストに対応しています。ご参照ください。

55-061-021/202511A4

製造、販売元：
株式会社オーヴァーレーシングプロジェクツ
〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町石丸 7678-5
Tel 059-379-0037 Fax 059-378-4253
E-mail shop@over.co.jp Website http://www.over.co.jp